

## 平成 28 年度まちづくり座談会における質問・要望事項と回答

■十王地区：7月25日（月）午後7時30分～9時 参加者数 35名

Q. 町では少子化の要因をどのように分析しているのか。

A. 子育て支援については様々な経済的支援を行っているが、それだけでは直接的に出生数の増加につながっていないのが現状である。今後は、雇用対策や住宅施策への関わりの部分も検討していく必要があると考えている。

Q. 婚活事業の進捗状況について教えてほしい。

A. 昨年度は、各企業に対してのアンケート調査を実施し、若者が結婚しない理由などについて集約した。今年度は、各イベントの前にセミナー等を開催し、より具体的な婚活イベントを開催していきたいと考えている。また、7月に町内で開催した婚活イベントでは、3組のペアが誕生した。

Q. 若者の働く場が増えないと人口も子どもの数も増えないと思う。複合施設をつくることによって、働く場や雇用は増えていくのか。

A. 今年、町内に木材の乾燥と強度を測るための施設ができるが、そこに3人ほど新規雇用する予定になっている。また、製材事業者にも人を雇っていかなければならないという話をしている。初めのうちは小規模のため、すぐに雇用が増えるわけではないが、徐々に規模を大きくしていけば雇用も増えていくと思う。

Q. 複合施設整備について、町民の負担をできるだけ減らしていくとあるが、今の施設と比べて具体的にどのくらい軽減されるのか。

A. 施設の維持費については、まだ詳しい数字が出ていないため、町民の負担が具体的にどのくらい軽減されるか数字で表すことは難しい。

Q. 町内のスギの木を伐採した後に再度植林をしようと思うが、その際に花粉の出ないスギを植えるなどの計画はあるのか。

A. 切ったら植えるという循環システムを作っていきたいと考えており、現在周囲にあるのはスギ林ということで、一番に考えられるのはスギの再植林だと考えられる。しかし、

スギ材は成長してから使えるようになるまで相当な時間がかかるということで、場所によっては樹種も検討していく必要がある。今後は、バイオマス発電等の木材需要の増加が見込まれるため、早く成長して早く切れる木という考えもあるのではないかと思う。また、無花粉スギの導入についても県と相談しており、それらを織り交ぜながら循環のシステムをつくれるように検討していきたい。

Q. 地域防災活動の強化とは、具体的にどのようなことをするのか教えていただきたい。

A. 地域防災活動強化事業については、自主防災組織の方々が実施するソフト事業に対して、町として支援体制をとるための補助事業を創設したもので、十数団体の自主防災組織で利用いただいた。訓練の内容については、避難訓練や防災マップの作成、ソフト事業の勉強会などに使っていた。

Q. 防災訓練のような、「行動する活動」を毎年実施してもらえるように予算をつけてほしい。

A. 子どもたちがどこにいても、自分の命を自分で守ることができるような防災教育を少しずつ進めている。また、町内の高齢者の方々に何か起きたときに、地域で情報を共有できるような仕組みも確立させていく必要があると考えている。そして、それぞれの地域の実状に合った訓練と経験を積んでいけるようなソフト事業に使っていただきたいと考えている。

Q. ハザードマップを分館などにも貼ってほしい。

A. ハザードマップについては若干残部があるので、必要の際はお使いいただきたい。なお現在、国交省において見直し作業が行われている関係で、町でも改訂版の作成を検討している。

Q. 近年は、若年層の方が多く林業に参入しているということだったが、県内一の人工林を保有している白鷹町に若い方が入ってくると思うと心強い。しかし、中には手入れされていない木も多く、全てのスギの木が使えるものではないと思うので、そのへんの対策も考えていただきたい。また、伐採した木を持ち出す際に、道の整備が必要になる場所もあると思うが、その部分についてはどのように考えているのか。

A. 山に入ると、ほとんどのところが手入れされていないのが現状である。そこで、3年前から十王及び滝野地区を皮切りに境界を明確化し、その中で森林組合に森林経営計画と

いうものを立てていただいて、その計画に基づいて間伐や作業道の設置をしていこうという取り組みを進めている。町内の森林所有者の方のほとんどが 1ha 未満の所有となっており、まとまって計画を立てないとできないことがほとんどなので、境界の明確化をしながら再造林につながる取り組みをしていきたいと思っている。

Q. 町内にチップ工場をつくるという話を聞いたが、概要を教えてください。

A. 町内の数社からチップ工場を造りたいという話をいただいているが、現時点ではまだ話をしている段階で、実際に工場を造るとは聞いていない。

Q. 十王コミセン設計についてはどのように進んでいるのか。

A. 昨年の 10 月に区長からコミセンの整備に対する要望をいただいた。今年度はそれに基づき、基本構想をつくりたいと考えている。

Q. 町内の子どもたちが活躍していることを多くの方に知ってもらえるように、目立つところへ掲示板などの設置をお願いしたい。

A. 掲示板等の設置については、場所によっては県への届け出が必要であったり、構造の問題があったりするが、子どもたちの活躍を多くの方に知っていただけるような手立てを検討していきたい。

Q. 移住者に対する支援を手厚くしてほしい。

A. 一人でも二人でも移住者が増えるように、移住に携わっている皆さんから話を聞きながら支援のかたちを検討していきたい。

Q. 白鷹町の空き家のほとんどに畑がついているが、移住者の中には畑は必要ないという方もいる。移住者の住む場所について、もっと配慮していただければ町へ来やすくなると思う。

A. 移住者の方々は、それぞれに目的を持って移住してきているので、十分に意見を聞きながらできるかたちをとっていきたい。